

GGG+フォーラム東京2018宣言文

2018年12月3日

日本リザルツは、感染症の抑止とユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）の達成を目指し、2016年からGGG+フォーラムを開催している。一連のフォーラムは、日本国内外のUHCへの関心を高め、G7伊勢志摩サミット、UHCフォーラム2017など日本政府が主催する会議の成功につながるなどの成果をあげてきた。

2019年8月28日から30日にかけて、TICAD7が開催される。TICAD7で重要なアジェンダの1つとなるのが、保健分野である。今年7月にケニア政府と共催で初めて開催したGGG+フォーラムケニア版は、シシリーケニア保健省長官はじめ、Global Fund、Gavi、GHIT Fund、WHO、UNICEFなど、グローバルヘルスに寄与する関係各機関の要人をはじめ、240人がフォーラムに参加し、現地の課題を直接、把握することで、アフリカのUHC実現に向けた課題を明らかにした。

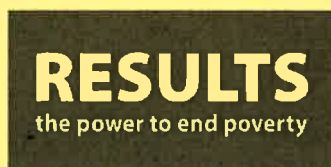
2019年にはG20、TICAD7、2020年には東京オリンピック・パラリンピックに合わせてN4G（成長のための栄養）サミットが開催される。一連のサミットで、日本が国際保健におけるリーダーシップを発揮していくには、日本政府、国際機関、学術界、企業、そして市民社会などが一丸となって取り組みを進めていく必要がある。

以上の点から、GGG+フォーラム東京2018：日本の知見でTICAD7を成功に！参加者一同は、2019年のG20、TICAD7、そして、2020年のN4G（成長のための栄養）サミットを成功させるために、以下を宣言する。

記

1. 日本政府が、結核、HIV/AIDS、マラリア、ポリオ、顧みられない熱帯病（NTDs）などの感染症抑止に向けてリーダーシップを更に発揮できるよう、Global Fund、Gavi、GHIT FundのGGGをはじめとした国際機関、学術界、企業、そして市民社会が、より一層、連携を強める。
2. 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに合わせて開催されるN4G（成長のための栄養）サミットが成功できるよう、すべてのステークホルダーが協力し合い、栄養・食事に関する取り組みを我が国全体で前進させる。
3. UHCとSDGsの実現にあたっては、日本政府がTICAD7に向けて策定中の「アフリカ健康構想」などを活用しながら、日本政府主導で、官民連携を推進していく。

以上



日本リザルツ
梅木俊秀
長坂優子